

# 一般質問

**福祉増進のための持続可能な行財政運営**  
**問** 合併による財政優遇措置の恩恵もなくなる時期を迎えるが、今後の財政健全化による施策の展



ふじみんマンホール

**問** 市街化区域内の整備率が99・8%となつていく中で、苗間地区にだけ未整備地域が残っているが、今後の整備推進の考えは。  
**答** この地域の中には、一部所有者の同意が得られず整備ができないところがあり、今後、これらの課題に対応し整備の推進をしていきたい。

**問** 合併による財政優遇措置の恩恵もなくなる時期を迎えるが、今後の財政健全化による施策の展

**問** 働き方改革で市職員も元気に能力発揮を  
**問** 長時間労働の是正やワークライフバランスを内容とする、働き方改革の市職員への取り組みの考えは。  
**答** 長時間労働の改善と女性が生き生きと活躍するための多様な働き方の実現を図り、業務効率の改善と、職員個人の能力を存分に発揮できる職場環境の整備を進めていきたい。

**問** 今後の財政収支の見通しの中で社会情勢を的確に反映し、厳しく事業の優先順位をつけることで計画的に施策展開を図っていきたい。  
**答** 今後の財政収支の見通しの中で社会情勢を的確に反映し、厳しく事業の優先順位をつけることで計画的に施策展開を図っていきたい。

**問** 東入間医師会に、地域医療・介護相談室が設置された。支援や効果は。  
**答** 退院後の自宅療養の往診や訪問看護の支

**問** 東入間医師会に、地域医療・介護相談室が設置された。支援や効果は。  
**答** 退院後の自宅療養の往診や訪問看護の支

**問** 音楽ホールや練習室・ギャラリーなどの文化施設の建設を。  
**答** 文化振興審議会の答申も参考に、平成30年度に整備方針を検討していく。  
**問** 審議会からはどのような意見があったか。  
**答** 600席規模のホールが2つあり、1館は大規模改修、もう1館は文化芸術に特化した大規模なホールの建設が必要という意見や、文化施設の役割を明確にしたほうがよいという意見などがあつた。



東入間医師会

**問** 元気・健康マイレージ事業の効果は。  
**答** 平成28年度は年間18・7%、1人当たり年間約2万1000円の医療費が減少した。

**問** 居宅介護住宅改修費の受領委任払い方式の実施を。  
**答** 平成30年度中の実施に向けて、ケアマネージャーを対象とした説明会を予定している。  
**問** 元気・健康マイレージ事業の効果は。  
**答** 平成28年度は年間18・7%、1人当たり年間約2万1000円の医療費が減少した。



**問** 野球やサッカーなど団体に所属している子どもに所屬していない子の2極化が進んでいる。休日の学校グラウンドは団体に貸し出しており、地域の子が使えない。時間を分けるなどして、地域の子が自由にスポーツできないか。  
**答** 防犯上の問題や安全性の確保、緊急時の対応など課題がある。市長部局や学校などが連携する必要があり、今後、研究する。  
**問** 多目的グラウンドや運動公園などへの移動手段の確保を。  
**答** 市では防災行政無線を整備している。臨時災害放送局は、今後研究する。

**問** 野球やサッカーなど団体に所属している子どもに所屬していない子の2極化が進んでいる。休日の学校グラウンドは団体に貸し出しており、地域の子が使えない。時間を分けるなどして、地域の子が自由にスポーツできないか。  
**答** 防犯上の問題や安全性の確保、緊急時の対応など課題がある。市長部局や学校などが連携する必要があり、今後、研究する。  
**問** 多目的グラウンドや運動公園などへの移動手段の確保を。  
**答** 市では防災行政無線を整備している。臨時災害放送局は、今後研究する。



ふるさと料理で避難者を支援

**問** 東日本大震災や熊本地震では、被災自治体が臨時災害放送局を開設し、地域に密着した情報を発信した。市は開設を想定しているか。  
**答** 市では防災行政無線を整備している。臨時災害放送局は、今後研究する。

# 市政を問う!

## 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、15人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(5月下旬掲載予定)

### 介護予防に対する市の取り組みは

渡辺 大議員

**問** 介護予防は元気に暮らせる期間を長くすることを旨とするので、最重要テーマである。市の取り組み状況は。  
**答** 地域住民主体の通いの場を充実させ、住民同士のつながりを通じ、参加者や通いの場が継続的に拡充していくような地域づくりを目指す。  
 ふじみんびんしゃん体操が徒歩圏内の市内各所で週1回以上開催されることを目標とする。

**問** 前橋市で85歳の男性が女子高生をひき、死亡させる事故が発生した。若者の未来を奪うかのような事故は、本市では起こってほしくない。返納の動機づけのために、市内循環ワゴンの無料チケットを配布しては。  
**答** 公平性の点で課題があり、現状は実施していない。

**問** 東日本大震災時に、市へ避難してきた方々への継続した支援を。  
**答** 市では発災当初より被災者の支援や被災者の交流イベントを行っている市民団体へ支援をしている。その一方で、震災から7年が経過し、当時とは違う状況に置かれている方も増えてきており、支援のあり方も変わってきている。今後も本人の意思を尊重し、関係機関と連携しながら可能な範囲での支援を継続していく。

像を「みんなではなく、む緑豊かな住みよいまちふじみ野」とし、計画達成に向け協働で進めていくことを表現している。また、施策展開の中で環境学習館えこらぼを活用した環境教育・環境学習の充実や情報ネットワークの構築を掲げ、団体への支援やさらに協働しやすい環境づくりを目指す。



(仮称) 介護予防センター予定地

**問** 県条例の改正により自転車損害保険への加入義務が定められ、本年4月1日より施行された。市の対応は。  
**答** 積極的に啓発を行っている。  
**問** 環境団体のネットワーク化を  
**問** 今後どのように進めていくのか。  
**答** 現在、今後10年間の活動を記した第2期環境基本計画を策定しており、目指すべき環境



ふるさと料理で避難者を支援

### 苗間地区の公共下水道(汚水)の整備推進を

西 和彦議員

### 文化・芸術の発信拠点施設を建設

伊藤美枝子議員

### 全ての子にスポーツの機会を

民部佳代議員